

科目コード	N306
授業科目名	がん看護論
授業科目名(英文)	Oncology Nursing
講義室等	1105
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	沖 智子
授業の概要	がんの病態や臨床経過、がん看護に関連する概念、がんを取り巻く社会動向や課題を理解し、根拠に基づいた看護実践を展開するために必要な基本的知識について学ぶ。あわせて、チーム医療における保健医療専門職種との連携について理解し、がんとともに生きる人とその家族のQOLを高めるための支援および看護の役割について学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	<ol style="list-style-type: none"> 1. がんの病態と臨床経過について説明できる。 2. わが国のがんの動向、がん医療に対する政策について説明できる。 3. がんサバイバーシップについて説明できる。 4. がん医療における倫理的課題や意思決定における患者および家族への支援について説明できる。 5. がん医療におけるおもな治療法とその看護について説明できる。 6. がんの進展および治療に伴う症状に対する看護について説明できる。 7. 小児・AYA世代・高齢がんの特徴に応じた看護について説明できる。 8. がん医療におけるチーム医療について理解し、看護の役割について説明できる。 9. がんサバイバーの療養過程を通じて、がん看護の現状や課題を考察できる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	課題レポート(20%)、筆記試験(80%)により、総合的に判定する。100点満点中60点以上を合格とする。
教科書	小松浩子他編「系統看護学講座 別巻 がん看護学」第3版(医学書院)発行2022年2月 ISBN 978-4-260-04216-1
参考書	一般社団法人日本がん看護学会教育・研究活動委員会コアカリキュラムワーキンググループ 編「がん看護コアカリキュラム日本版 手術療法・薬物療法・放射線療法・緩和ケア」(医学書院)発行2017年2月 ISBN 978-4-260-02850-9
その他	「がん治療と看護(手術療法)」の講義は、「周手術期看護論 [第3版]」ヌーベルヒロカワを持参すること。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6.4.2	火	Ⅲ	がんの病態と疫学	講義	沖 智子		
				予習 がんの発生要因について調べておくこと				
				復習 講義内容の復習				
2	R6.4.9	火	Ⅲ	がん医療の動向と政策、がんサバイバーシップ	講義	沖 智子		
				予習 がん対策基本法について読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
3	R6.4.16	火	Ⅲ	がん医療における倫理的課題、意思決定支援	講義	沖 智子		
				予習 教科書「がん病変に対する治療の選択」について読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
4	R6.4.23	火	Ⅲ	がん治療と看護(手術療法)	講義	永松 有紀		
				予習 乳がんの病態と治療について予習しておくこと				
				復習 講義内容の復習				
5	R6.4.30	火	Ⅲ	がん治療と看護(がん薬物療法①)	講義	沖 智子		
				予習 がん薬物療法の特徴について予習しておくこと				
				復習 講義内容の復習				
6	R6.5.7	火	Ⅲ	がん治療と看護(放射線療法)	講義	松岡さなえ	1	
				予習 放射線療法について復習しておくこと				
				復習 講義内容の復習				
7	R6.5.14	火	Ⅲ	がん治療と看護(がん薬物療法②)	演習	沖 智子		
				予習 がん薬物療法による主な有害事象について復習しておくこと				
				復習 講義内容の復習				
8	R6.5.21	火	Ⅲ	がん治療と看護(がん薬物療法③)	演習	沖 智子		
				予習 がん薬物療法による主な有害事象について復習しておくこと				
				復習 講義内容の復習				
9	R6.5.28	火	Ⅲ	小児のがんと看護	講義	中村 恵美		
				予習 小児がんサバイバーの治療後の生活に生じる問題について考えてくること				
				復習 講義内容の復習				
10	R6.6.4	火	Ⅲ	がん性疼痛と看護①	講義	沖 智子		
				予習 全人的苦痛の考え方について予習しておくこと				
				復習 講義内容の復習				
11	R6.6.11	火	Ⅲ	がん性疼痛と看護②	講義	沖 智子		
				予習 全人的苦痛の考え方について予習しておくこと				
				復習 講義内容の復習				
12	R6.6.18	火	Ⅲ	がん患者の心理的サポート	講義	沖 智子		
				予習 これまでの実習における患者とのコミュニケーションを通して課題について考えてくること				
				復習 講義内容の復習				
13	R6.6.25	火	Ⅲ	がん患者の治療と仕事の両立支援	講義	原田有理沙	1	
				予習 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」(特に「がんに関する留意事項」)を読んでおくこと				
				復習 講義内容の復習				
14	R6.7.2	火	Ⅲ	がん看護における相談支援	講義	根本さくら	2	
				予習 「がん対策推進基本計画」のがん相談に関する箇所を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
15	R6.7.9	火	Ⅲ	がんサバイバーの体験とまとめ	講義	沖 智子		
				予習 がん体験に関する文献を読んでおくこと				
				復習 事後学習課題				